

校長室より

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼敦之

「二松から飛翔へ」

2023 合宿訪問記② ～バドミントン部 in 白子町 (九十九里浜)

合宿訪問第2弾。今回は男・女バドミントン部の激励に向かいました。

合宿地は千葉県の白子町で九十九里浜まで徒歩数分のところ。海岸は早朝の散歩コースにしているとのことでした。当日は中央道と首都高速道路の渋滞を避け、早朝に自宅を出発、九十九里浜沿いの道路から海辺を見ると台風6号のせいか白波がたち、海水浴場は遊泳禁止の旗が立っていました。

朝食をとっている最中にホテルに到着。合宿2日目でまだ疲れも見せず、元気な様子？ でした。

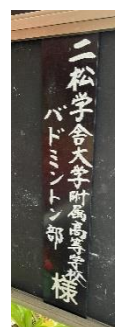
午前中の練習は9時からスタート。顧問の小門先生の合図の下、体幹を鍛えるトレーニングから始まり、チーム対抗のリレーダッシュと段々メニューはハードになっていきます。

ラケットを握る練習になると、体育館の窓を閉め暑さも倍増。シャトルを（コートのエンドラインに向け大きく打ち返す）“クリア”や（ネットすれすれに打ち合う）“ドライブ”、（ネット際に落とす）“ドロップ”、“スマッシュ”など多彩なラケットさばきが求められるようです。また、前・後のシャトルを拾うメニューなどいずれもフットワークが重要です。

「校長先生やってみます？」との誘いによって、トライしてみました。へトへトです。

今回、バド部は1年生24名、2年生11名と大勢の部員が参加。下級生の練習支援と指導のために引退した3年生も指導に加わり、43名の大所帯となり浅見先生、有賀先生にも引率していただきました。

自分を限界まで追い込み、技術・体力を身に付けるとともに、集団生活でチームワークを養うよう激励のメッセージを残し、会場をあとにしました。



夏

高校生の祭典 Fight!

現在、全国の高校生が列島の北と南で活躍をしています。

体育系では、「翔び立て若き翼」をスローガンにインターハイ（総合体育大会）が北海道で、文科系では「47の結晶 桜島の気^{いぶ}噴にのせ 紡ぎ文化の1ページ」を大会テーマに総合文化祭が鹿児島県で開催され、連日、その成果が報告されています。高校生のはじけるエネルギーは凄い。インターハイのスローガンがこの校長室より「二松から飛翔へ」とかぶるのも嬉しいですね。

もちろん、二松生の活躍や活動の様子も日々届いています。美術部の文化祭パネル作成、家庭科部の部活動体験、卓球部の女子学年別大会、ダンス部のチームダンス選手権大会・体験入部、ボランティア同好会の子供食堂・トマト栽培、サッカー部4地区ユースリーグ、かるた部の全国大会・多摩大会など沢山の活躍で嬉しい限りです。

7月は観測史上最も暑い夏だったようです。8月も厳しい暑さかもしれませんが、皆さんの熱い力で吹き飛ばそう。

翔び立て若き翼